



箕面小だより



箕面市立箕面小学校
令和8年度(2026年度)10月号
9月30日(水)配信

学校教育目標
めざす子ども像
めざす学校像

支え合い、ともに伸びゆく箕面小っ子

ともに考える子(知)、ともに高め合う子(情)、ともにやりぬく子(意)

○あいさつと笑顔であふれる学校

○思いやりと優しさが感じられる学校

○高学年が在校生の「あこがれ」の存在となる学校

○保護者・地域とともにあゆみ、信頼される学校

一步一步、前へ

校長

この夏、私は家族とともに、富士山に登りました。富士山への挑戦は今回で二回目です。三年前には山梨県側の富士吉田ルートから登りましたが、その時は時間の都合で、富士山の最高地点である「剣が峰」まで行くことができませんでした。そのことが心残りとなり、今回は静岡県側の富士宮ルートから、3776メートルの剣が峰をめざしました。

登り始めた五合目では、まだ草木が見られました。しかし、標高が上がるにつれて植物は少なくなり、道は大きな岩が続く険しい道へと変わっていきました。斜面は急になり、空気も薄くなります。元祖七合目に近づく頃には、疲れもかなりたまり、「もうやめたい」と何度も思いました。それでも、「この一步が山頂につながる」と自分に言い聞かせながら、一步、また一步と足を進めました。そして、ついに3776メートルの剣が峰に立つことができました。

富士山登山を通して、私が改めて感じたことは、大きな目標に向かうときこそ、小さな一步を積み重ねることが大切だということです。そして、もう一つ強く感じたことがあります。それは、決して自分一人の力だけで登ったのではないということです。家族からの「大丈夫?」「頑張ろう」という声、山小屋で働く方々、重い荷物を運んでくださる方々、そして登山道ですれ違う人からの「もう少しですよ」「ご苦労様です」という何気ない言葉にも力をもらいました。多くの人に支えてもらったからこそ、苦しいときにも一步を踏み出すことができました。

これは、子どもたちの学校生活にも通じるものだと思います。今月末には学習発表会を終え、子どもたちは友達と力を合わせ、一つのものをつくり上げる経験をしました。そして来月末には、運動会が待っています。練習の中では、「うまくできないな」「もうやりたくないな」と感じることもあるかもしれませんが。そんなとき、いきなり大きな成果を求める必要はありません。まずは目の前の一步。そして、もう一步。その積み重ねが、いつか大きな力になります。

本校の学校教育目標は、「支え合い、ともに伸びゆく箕面っ子」です。自分から一步を踏み出すこと。そして、困ったときには誰かに支えてもらい、今度は自分が誰かの一步を支えること。そんな子どもたちの姿を、これからも大切にしていきたいと思います。

富士山で学んだ「一步一步」という言葉を胸に、子どもたちの小さな歩みを大切にしながら、これからも一緒に応援していきたいと思っています。

○学年コーナー(学習発表会を終えて)

1年	1年生にとって初めての学習発表会。最初はドキドキしながら練習していましたが、練習を重ねるうちに、少しずつ自信をもって歌ったり演奏したりできるようになりました。本番も、みんなで力を合わせて一生懸命頑張りました。「楽しかった!」と嬉しそうな子どもたちの姿に、成長を感じました。来月末の運動会でも、元気いっぱい頑張ります!	2年	2年生は学習発表会で音楽劇「スイミー」に挑戦しました。国語の学習で学んだことを歌とセリフにこめて表現することができました。同じクラス、ちがうクラスの友だちの声を意識してチーム2年生として最後までやりきることができました。スイミーたちが力を合わせて大きな魚みたいに泳げたように、これからも2年生みんなで力を合わせて成長していきたいです。運動会でもつながる力をいかして頑張っていきます。
3年	「一人じゃない、みんなのパワー」をテーマに、今の3年生にできる精一杯の演奏、合唱を見ていただけたと思います。リズム奏では交互に叩く所がうまくできずに、各クラスでも何度も練習しました。うまく演奏できずに悩んだことも、それを乗り越えた達成感も、これからの学校生活に活かして行ってほしいです。今月末には、運動会があります。「みんなのパワー」を結集して、素敵な運動会にしていきたいです。	4年	リズムにのって歌う難しさ。上手になってきたけれど、なかなか音を合わせられないもどかしさ。本番までの期間、子どもたちは様々な壁にぶつかってきました。そんな中でも、友だちの声を感じながら歌えるようになったり、指揮を見て演奏できるようになったりする子が増え、みんながつくる『音楽の力』もどんどん高まってきました。ここで味わえた努力するよさやそろったときの心地よさを運動会にも活かしてほしいです。
5年	1学期の総合の学習やレイクスクールで学んだことをもとに、創作「琵琶湖劇」に挑戦しました。小道具の作成や表現方法を子どもたち自ら「もっとよくしたい!」と考え、試行錯誤しながら練習に励んできました。本番ではその成果を存分に発揮でき、子どもたちの頼もしい成長を大変嬉しく感じております。この経験で培った力を、次の運動会での活躍にもつなげられるよう、これからも温かく見守り、支えてまいります。	6年	合唱も合奏も、最初はなかなか音が揃わず、どうすれば…と思うこともありましたが、練習する中で子どもたちの自主的に練習する姿が見られるようになり、そこから日に日に上達し本番を迎えました。本番は、一音一音丁寧に奏でた音、団結力のある演奏をお届けできたのではないかと思います。来月末には運動会もあります。更にパワー溢れる演技をご覧いただけるよう練習に励んでまいります。